

肺がんの状況

わが国の肺がんによる死亡数の順位は、男性1位、女性2位です。津市でも、男女ともに上位に位置しており、肺がんは命にかかわることの多いがんです。

がん死亡数の順位(2024年)【全国】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

国立研究開発法人国立がん研究センター

「肺がん」「がん検診」などのがん情報についてもっと詳しく知りたい人は、国立がん研究センターのがん情報サービスをご覧ください。

国立がん研究センターがん情報サービス

ganjoho.jp



～個人情報の取扱い～

がん検診結果や精密検査の結果は、厚生労働省等の指針・ガイドラインに基づいて、市へ報告されます。

がん検診を受けた医療機関以外で精密検査を受診した場合は、検診と精密検査を受診した医療機関間で結果を共有することがあります。

受診者の氏名や住所は、がん検診のアンケートや精密検査の受診勧奨通知等に利用することがあります。

津市や三重県の健康推進を目的に、がん検診や精密検査の結果について統計的な処理を行い、公表することがありますが、その場合個人が特定されることはありません。

津市 健康づくり課 令和8年5月作成



津市がん検診の対象は、 自覚症状のない人です

肺がんの中には急速に進行するものもあります。血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなどの症状がある場合には、次の検診を待たずに医療機関を受診しましょう。



自覚症状がない場合は、定期的に検診を受けることで、がんを発見できる確率は高まります。

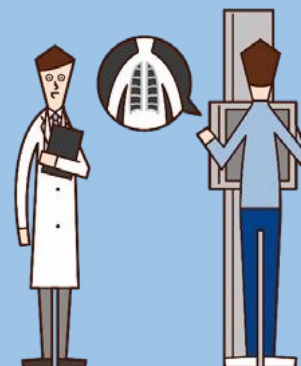


40歳以上の方は、1年に1度
検診を受けましょう

肺がん検診

を受ける方、受けた方へ

早期発見・早期治療で命を守る



国は、受診を特に
推奨する者の年齢を
69歳以下としています

肺がん検診の有効性

津市が推奨する肺がん検診（エックス線検査）は、「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。デメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されています。

メリット	早期発見・早期治療	進行していない状態のがんを発見し、命を守ることができる
	安心を得る	検診で「異常なし」と判定された場合、安心できる
デメリット	偽陰性	がんが100%見つかるわけではない（精検不要とされたが、がんだった）
	偽陽性	結果的に不必要な治療や検査を招く可能性がある（要精検とされたが、がんではなかった）
	過剰診断	生命や予後に影響しない、微小で進行の遅いがんを見つけてしまう
検査に伴う偶発症		胸部エックス線検査に伴う放射線被ばく

喫煙と肺

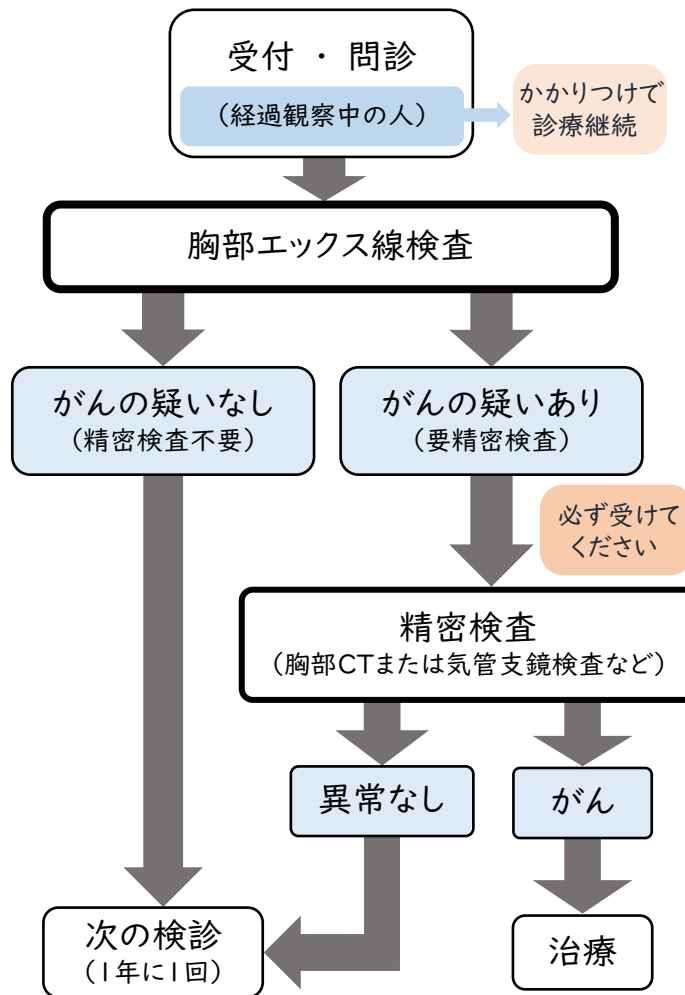
喫煙者は非喫煙者と比べて**男性で約4倍、女性では約3倍肺がんになりやすく**、喫煙を始めた年齢が若く、喫煙量が多いほどそのリスクは高くなります。**受動喫煙（周囲に流れるたばこの煙を吸うこと）も肺がんのリスクを2～3割高めます。**

禁煙によってご自身と周りの人の健康な肺を守りましょう。



出典：「国立がん研究センターがん情報サービス」

肺がん検診の流れ

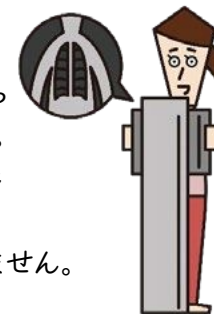


津市では、国の指針に基づき、判定の精度を高めるため、2人の医師が判定を行う**二重読影**を行っています。そのため、検診結果の返却には1か月程度かかります。

胸部エックス線検査

息を大きく吸い込み肺を膨らませ、しばらく止めて撮影します。左右の肺など、胸部の臓器の形や病変をチェックします。

食事や内服薬の制限はありません。



精密検査は必ず受けましょう！

検査の結果、要精密検査となった場合には、必ず検診を受けた医療機関に相談してください。

精密検査の方法

《胸部CT検査》

エックス線を使って、病変が疑われた部位の断面図を撮影し、詳しく調べます。

《気管支鏡検査》

気管支鏡を口や鼻から気管支に挿入して、病変が疑われた部分を直接観察します。必要に応じて組織を採取し、悪性かどうか診断します。